

1 管理運営に関する基本的事項

(1) 日比谷公園大音楽堂の管理運営における基本理念

ひとと緑が出会い、未来へつなげる
レガシーパークにふさわしい施設の提供

私たちはこれまでの管理運営の中で、日比谷公園大音楽堂を「貴重な遺産」として継承してきました。

この実績とともに、「パークマネジメントマスタープラン」「東京グリーンビズ」「『未来の東京』戦略」に基づき、引き続き、利用者、地域、企業、学校など多くの人々が施設で出会い、各催事の有する個性を引き出す施設運営、安全で安心な運営、さらには、公園と公園周辺のまちの魅力を高める施設のひとつとしての管理運営に努めます。



＜共同事業体各構成員のノウハウと役割＞

(公財)東京都公園協会	日比谷公園等の都立公園・施設の管理実績やノウハウ	▶	・事業統括 ・植栽管理
大星ビル管理㈱	豊富な管理実績 音楽祭開催ノウハウ	▶	・マネジメント統括 ・施設維持管理
㈱共立	豊富なホール等管理実績 専門的な舞台技術運営	▶	・施設管理運営 ・舞台管理

(2) 指定管理者の責務

- ①安全・安心に利用できる公園内施設づくり
法令遵守のうえ、事故未然防止、防犯環境整備に努めます。
- ②公平・公正で平等な利用の機会を確保した管理運営
公共施設としての公平性を担保し、誰もが安全・快適に利用できる施設運営を行います。また、差別や人権についての意識啓発にも取り組みます。
- ③効率的・効果的で質の高い管理運営の実現
利用者の声のフィードバック、新技術の導入等、多方面から効率的な管理運営を実現します。
- ④危険性の高い感染症等の流行への対策
感染の拡大予防に努めた施設利用の取組を行っていきます。

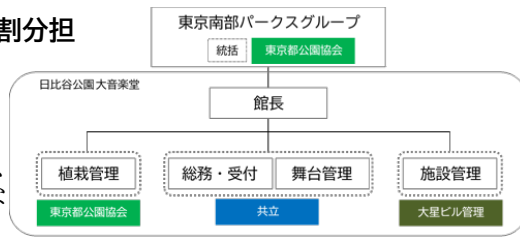
2 人員配置計画等

(1) 人員配置計画

・各担当業務ごとに必要な能力・資格・実務経験等を踏まえ、適正な人員を配置

(2) 組織体制・指揮命令系統と役割分担

- ・東京都公園協会が共同事業体を統括
- ・館長を現場の最高責任者として、利用者や施設に合わせた組織体系、人員を配置し、効率的かつ効果的な組織を企画



(3) 人材の確保と職員の技術・能力向上への取組

- ・能力のある職員の雇用により、業務の継続性、サービスレベルを維持
- ・「公の施設」の職員にふさわしい心構えやホスピタリティのある人材を雇用
- ・担当分野の専門知識を有するプロフェッショナルな人材を配置
- ・専門分野のプロフェッショナル育成に向け、各種講習・研修を定期的の実施

基本研修	マナー・接遇研修／コンプライアンス研修／安全研修	上級研修	救命技能認定講習
防災訓練等	非常時研修（消防訓練）／消防設備研修	専門研修	専門技能養成講習

3 運営管理計画

(1) 質の高いサービスを提供するための具体的な取組

- ・利用者目線を意識したホームページ、パンフレット等による**広報宣伝**
- ・利用者とのコミュニケーションを重視し、**リピーター確保のための細やかなサービスの提供**
- ・構成団体のネットワークやノウハウを活かした**新規利用者獲得**の取組
- ・利用者からの相談・要望への対応・アドバイス等、**利用者サービスの向上**
- ・GPSを活用したイベント時の情報発信等、**DXを活用した利便性の向上**



パンフレット(左)とホームページ(右)

(2) 利用者要望の把握方法と管理業務への反映方法

- ・要望・苦情等を真摯に受け止めるとともに、公の施設としての公共性や公平性の観点から十分に検討し、スピード感をもって対応します。
- ・利用者との日常的なコミュニケーションを重視し、日ごろから直接的に要望を吸い上げる意識を常に持って業務に当たります。
- ・苦情は未然防止に努め、苦情発生時には迅速、的確に対応します。

(3) 都民協働や地域コミュニティとの連携による施設の魅力や地域の価値の向上につながる取組

日比谷音楽祭や日比谷野音オープナー等実施の際には近隣施設との連携等を継続し、日比谷公園大音楽堂の魅力や地域の価値の向上につなげていきます。



日比谷音楽祭2023では、東京ミッドタウン日比谷、日比谷図書文化館、松本楼、帝国ホテル、日本生命日比谷ビル等と連携し、街の一体感や新たなにぎわいを創出

(4) 施設の魅力向上と利用促進を図るための自主事業等の提案

共同事業体からの拠出金やクラウドファンディング等を活用した自主事業で、施設の利用率向上、付加価値向上、サービス向上、再整備等施設の魅力向上に取組みます。



①日比谷音楽祭

令和7年度も「フリーでボーダレスな音楽祭」のテーマを継承し開催。変わりゆく日比谷公園と共存しながら、開催場所を変えるなど柔軟に対応し、また周辺地域とも今まで以上に連携を深め、ネット配信も行い、歴史や音楽文化を発信します。

②日比谷野音オープナー

100年を超える歴史や果たしてきた役割、存在価値を、オールドファンから子どもたち、若者たちの記憶に留めるような楽しいイベントを実施します。

③ファイナルコンサート

クロージングイベントとして、日本の音楽文化の発展に寄与してきた3代目日比谷公園大音楽堂の歴史を振り返り、4代目のオープンまで、日比谷で生まれた「誰もが楽しめるユニバーサルイベント」の火を絶やさないよう、ゆかりのアーティストによるコンサートを開催します。



(5) 共生社会の実現に向けた取組

①ホスピタリティ・おもてなし
情報発信の強化、安全の確保

②バリアフリーの取組

バリアフリー施設の適切な管理、車いすの貸出等

③芸術文化の魅力発信イベントの継続開催

東京2020大会の文化プログラムと位置付けられた「日比谷音楽祭」の継続実施

4 施設維持管理計画

(1) 適切な維持管理を行うための取組

①維持管理の方針

- ・老朽化した施設に対応した施設維持
- ・現指定管理者として蓄積データを活用した「安全・安心・快適」を重視する維持管理

②日常管理で重視する事項

- ・老朽化による危険箇所の把握
- ・法令の遵守、定期保守点検の実施
- ・日比谷公園との調和を意識した維持管理
- ・維持管理履歴を活用した効果的・効率的な業務遂行
- ・再整備計画策定に向けたデータ・ノウハウの提供

③維持管理の業務管理体制

- ・「工事発注」⇒「工事監督」⇒「工事完了」の各段階で業務管理を適正に実施

(2) 事故、自然災害及び感染症などの社会課題への対策・対処するための取組

- ・組織的な安全管理体制を整え、平常時から事故・災害に備える。発災時には利用者の安全を第一に、迅速かつ的確に対応
- ・施設ハザードマップ等の活用による業務の継続性確保と質の向上
- ・気象災害、震災、感染症に対応するタイムラインを作成し、発生時には的確に対応

(3) 施設補修、施設改良に関する要望への取組

補修・改良要望

- ・過去の取組事例を活用した受付体制の構築
- ・要望内容確認、対策検討
- ・対策の決定・施工、改善の報告

音楽文化の発信拠点としての資産価値・ブランド価値の向上

(4) 公園が持つ緑の特性を一層引き出すための新たな維持管理の考え方

①ステージから見える
魅力的な緑の景観づくり

②客席から見える魅力的な緑の
景観づくりと安全・安心・快適な
樹木管理



アーティストにとっても、観客にとっても快適な緑の空間づくり